

■ 建設位置

新施設が完成するまでの中央公民館機能の継続利用や、敷地の前面道路からの施設の視認性、また、総和庁舎敷地を含めた敷地全体の効率的な利用（一体利用）を勘案した上で建設位置を選定しました。



■ 施設整備費の概算

施設整備費の財源については、施設整備費の約7割を国が交付税により措置する有利な合併特例債（起債）を活用し、市の財政への負担軽減を図ります。

実施内容	概算費用	予定年度
調査・設計	153 百万円	令和4年度、令和5年度
建設工事	1,399 百万円	令和5年度、令和6年度、令和7年度
外構工事	200 百万円	令和7年度
備品購入	100 百万円	令和7年度
施設整備費の計	1,852 百万円(概算)	

※施設整備費については、あくまで計画時における概算のため、各年度の予算額を担保するものではありません。

■ 整備スケジュール

以下のスケジュールを想定しています。

実施内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本計画	→				
調査・設計		→	→		
手続期間			→		
建設工事				→	→
備品購入					→

※現在の中央公民館（敷地）は、新地域交流センターの駐車場として整備を行うため、令和8年度以降（新地域交流センター完成後）に解体工事を進める予定です。

■ 基本計画策定の経過

(1) 基本計画策定委員会における会議及びワーキング作業部会における検討

古河市（仮称）総和地域交流センター基本計画策定委員会を設置し、基本計画策定委員会における会議及びワーキング作業部会における検討を、計6回ずつ開催しました。

(2) 計画策定に伴う施設利用者の意向調査の実施

令和3年8月1日から8月31日までの調査期間で、中央公民館、さくら館、ふれあい館、サークル館の利用者から504件の回答をいただきました。

令和4年(2022年)2月策定・発行
古河市 企画政策部 プロジェクト推進課
〒306-0291 茨城県古河市下大野2248番地
TEL 0280-92-3111(代表) FAX 0280-92-3088



古河市総和地域交流センター基本計画 —概要版—



■ 基本的な考え方

新市建設計画における「将来像」と第2次古河市総合計画における「めざすまちの姿」を実現するため、新たな地域交流センター整備に関する基本理念を定め、新施設の整備目的の達成を図ります。

～ひとが行き交う魅力あふれる地域づくり～

最上位計画 ◆新市建設計画[将来像] 風格と希望に満ちた“いきいき古河”
◆第2次古河市総合計画[めざすまちの姿] 華のある都市(まち)古河

整備目的

新たな地域活力の創造

地域文化の継承

地域の魅力の向上

基本理念(3つのづくり)

生きがいづくり

利用者それぞれの活発な活動により、生活の潤いや心の張り合いが感じられるよう、地域での様々な活動に対応できる空間を提供します。

にぎわいづくり

誰もが訪れやすく、人を引き寄せる魅力がある空間を提供し、人と人との集いや出会いによる活発な連携、協働を生み出します。

地域づくり

地域のランドマーク（目印）となる施設を整備することで、地域の文化に誇りを持ち、また、新たな地域文化を創造する活動の拠点を形成します。

はじめに

古河市は、合併後16年を経過し、地域活動の活発化や地区コミュニティ団体の設立が進み、各社会教育団体の活動も大きな広がりを見せています。それらの活動拠点として、公民館等の社会教育施設は、大きな役割を担っています。市では、これまでに、老朽化した公民館施設の更新（建て替え）を計画的に進めてまいりました。建て替えた施設は、単に旧来の公民館施設としてではなく、近年における市民の施設利用ニーズに的確かつ柔軟に対応できるよう、「地域交流センター」として再整備してきました。現在、昭和50年に整備された中央公民館をはじめとし、総和地区内の公民館等施設の老朽化が著しく進んでいるため、今回、それらの代替施設として新たに整備する「古河市総和地域交流センター」の基本計画を策定しました。

古河市長 針谷 力

関連計画での方針

- (1) 公共施設等総合管理計画(ファシリティマネジメント)
 <基本方針、分野別施設方針、
 公共施設適正配置基本計画(個別施設計画)>

「公共施設等総合管理計画」では、総和地区に所在する中央公民館、ふれあい公民館、さくら公民館、勤労青少年ホーム・働く女性の家について、老朽化の進行に合わせ、施設のあり方及び将来における施設の更新(建て替え)を検討することとしています。そして、これら4つの施設の評価及び分析に基づく方向性として、中央公民館への機能の集約化や他施設への機能の移転を検討することとしています。



長年多くの利用者に愛されてきた4つの地域施設



新たな地域交流センターが目指す国際的な目標(ゴール)

- (2) SDGs(エスディージーズ:持続可能な開発目標)

施設の整備、管理及び運営にあたっては、アイコンが示す目標(ゴール)達成への貢献を目指します。

施設の役割と機能

基本理念に基づき、施設に求められる役割を明確にし、施設に必要な機能を想定します。

育成・学習

さまざまな活動での施設利用により、個人や団体の育成が促進され、また、利用者の学ぶ意欲を充足するための施設機能を確保することで、施設利用を通じた「ひとの成長」を実現します。

◆想定する機能(スペース)

研修室、創作室、音楽室、調理室、自習室、図書室 など



出典:古河市地域交流センター(はなももプラザ)
 育成・学習の諸室イメージ

交流・発表

多様な活動による交流や練習等の成果を発表できる施設機能を提供することで、世代間交流や地域間交流を促し、利用団体等の活動の活性化を図るなど、地域における新たな「にぎわいの創出」を実現します。

◆想定する機能(スペース)

多目的ホール、キッズスペース、交流スペース など



出典:駅西地域交流センター(いちようプラザ)
 交流・発表の諸室イメージ

文化形成 ・ 文化継承

自治組織や地域コミュニティ団体、社会教育団体等による地域活動の拠点となる施設機能を提供することで、新たな「地域文化の形成」を促し、また、郷土の歴史や文化を感じられるスペースを提供することで、誇りある「地域文化の継承」を図ります。

◆想定する機能(スペース)

地域活性化ルーム、郷土資料展示スペース、和室 など



出典:古河市地域交流センター(はなももプラザ)
 文化形成・文化継承の諸室イメージ

管理運営のあり方の検討

施設の整備段階におけるライフサイクルコスト等への配慮やSDGsの達成への貢献など、経営的視点による効率的な維持管理及び効果的な事業運営を検討します。

<施設利用者の意向調査における意見等を反映したのものには、マークを付しています。>

施設管理
(維持管理)

◆**利便性や公平性の確保**



バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設整備を検討し、様々な世代の施設利用による幅広い交流を図ります。

◆**安心と安全の確保**



日常的な点検や清掃、計画的な修繕等を行うことで、利用者の安心と安全を確保します。また、災害等にも対応できる施設管理を図ります。

◆**環境への配慮**

施設管理における省エネや再エネの導入等を検討するなど、脱炭素社会の実現への取組に貢献できる施設の整備や維持管理を目指します。

施設運営
(事業運営)

◆**地域に根付いた施設運営**



地域に親しまれ、何度でも訪れたい施設運営を目指します。多様化する利用ニーズの把握に努め、地域の実情に見合った施設運営を検討します。

◆**魅力的な施設情報の発信**

多様な媒体を活用して積極的に施設情報を発信し、新たな利用者の獲得を図るなど、魅力的でにぎわいのある施設運営を目指します。

◆**経営的視点による運営**



施設の経費削減や施設サービスに見合った料金体系など、質の高い施設サービスの提供を図ります。また、利便性の高い予約方法(システム)の構築など、利用者の満足度を高める取組を検討します。

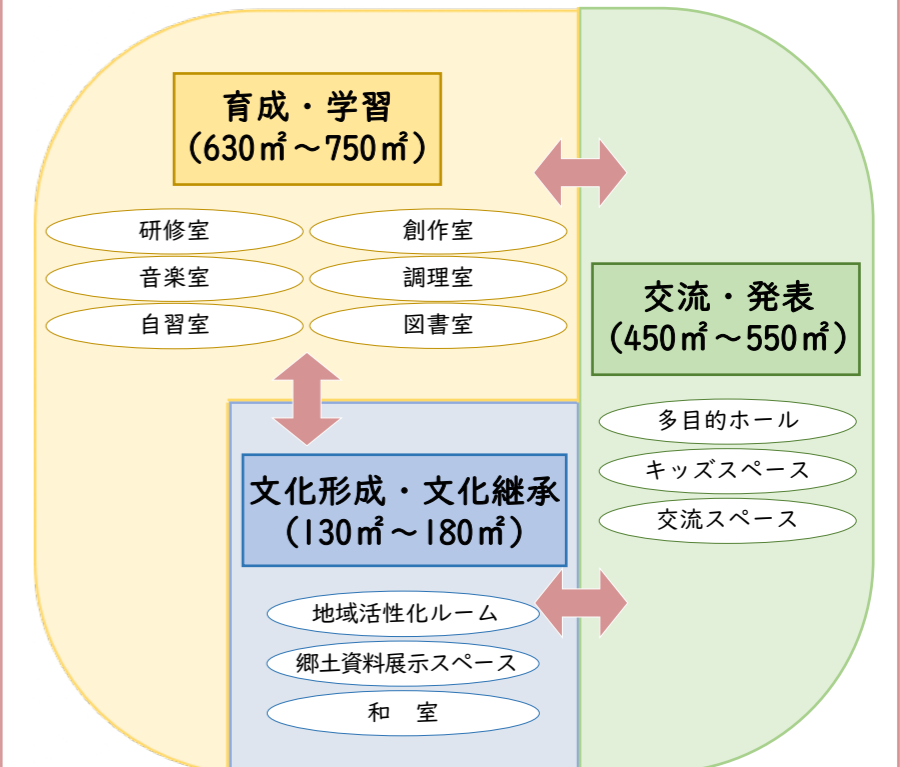
◆**運営体制の構築**

施設の運営を民間事業者等に委託することを検討するなど、整備目的達成のために効率的かつ効果的な運営体制の構築を図ります。

役割と機能の配置イメージ

それぞれの役割(機能)を効率的かつ効果的に配置することで、『生きがいづくり』、『にぎわいづくり』、『地域づくり』を生み出し、利用団体等の複合的な活動を促進します。

施設全体の想定規模 約2,100㎡～約2,500㎡



※施設の平面図ではありません。
 ※施設全体の想定規模には、施設管理上必要な管理室(事務室)、エレベーター、トイレ、物置等の面積を含みます。